

このファイルは「琵琶湖の研究」を出版するための参考資料として作成しました。

「琵琶湖の研究」は文庫版320ページの書籍としてQuarkXPress3.3で仮編集しています。内容は次項からの目次の通りですが、確定はしていません。琵琶湖でバスのリリースが禁止される2003年4月1日以後の状況を見届けた上で、すべての原稿をそろえて内容を確定したいと思っています。すでに現ファイルで320ページがほぼ埋まっていますが、Editorialの内容が増える分、ホット情報の項目から不要な部分を削って、最終的に320ページに収まるように調整する予定です。

著者による校正は、Editorialについては現状でほぼ完了しています。ホット情報以降はページが動くので、確定してから校正するつもりです。目次についても同様です。

ファイル名 「琵琶湖の研究」 b 03/03/25

## 琵琶湖の研究



ゴールデンウィークに突入した琵琶湖でバス釣れてます (2002/04/28) 150  
 ゴールデンウィーク後半に突入。琵琶湖のバスも連休かか!! (2002/05/03) 154  
 釣れる釣れないは腕次第のゴールデンウィーク後半 (2002/05/06) 157  
 琵琶湖北湖、南湖も池原ダムもビッグバス釣れてます (2002/05/14)  
 まるで梅雨のような琵琶湖。北か南か迷う季節 (2002/05/16)  
 南浜漁港のゴミが減った理由は? (2002/05/26)  
 真夏のような北湖で下野正希プロがSOPキヤッチ (2002/05/28)  
 四十肩テニス肘加藤誠司プロが琵琶湖戦3位入賞 (2002/06/03)  
 6月上旬の琵琶湖は天気よ過ぎてバス釣れてません (2002/06/05)  
 琵琶湖利用適正化条例の要綱案を滋賀県が発表 (2002/06/19)  
 琵琶湖にひさしぶりの雨。梅雨の好機到来か!! (2002/06/21)  
 リリース禁止反対イベントを急ぎよ開催。匿名運動も (2002/07/04)  
 真夏のような七夏の琵琶湖。水泳よりもバスフィッシング (2002/07/07)  
 加藤誠司プロとその一味。なんだかんだで大忙し (2002/07/09)  
 琵琶湖の水位が急上昇。釣行にはくれくれも注意を!! (2002/07/10)  
 立て続けの台風でひどい濁りになった琵琶湖 (2002/07/16)  
 アングラーのボートが増え始めた夏休み直前の琵琶湖 (2002/07/19)  
 台風一過。二過。三過。いよいよ夏本番の琵琶湖 (2002/07/28)  
 夏休みの琵琶湖にアングラーが少ない理由 (2002/08/07)  
 お盆休みに突入した琵琶湖で杉戸繁伸プロが爆釣!! (2002/08/10)  
 早くも秋の気配が漂い始めたお盆休み終盤 (2002/08/18)  
 台風3号の影響で琵琶湖は一気に秋にかわるか? (2002/08/19)

バスも釣ってる下野正希プロ。日戦9位入賞 (2002/09/01)  
 真夏の暑さがぶり返した琵琶湖。それでもパターンは秋 (2002/09/02)  
 琵琶湖バス釣り人協議会が滋賀県に意見書を提出  
 琵琶湖レジャー利用適正化条例案を滋賀県が発表 (2002/09/20)  
 リリース禁止に対する公開質問状を日釣振が知事に提出 (2003/09/21)  
 秋本番の3連休第二弾初日は絶好の釣り日和 (2002/09/21)  
 杉戸繁伸プロがゲストと2人でバス2尾の大爆釣!! (2002/09/28)  
 雨が降っても水位は上昇せず。それでもバスは入れ食い (2002/09/30)  
 リリース禁止条例の審議が滋賀県議会でスタート (2002/10/01)  
 台風2雨で水位が上昇しパターン急変 (2002/10/03)  
 秋の好天に恵まれた3連休中日。岸もボートも大入り満員 (2002/10/13)  
 3連休最終日はバスもアングラーもスローダウン (2002/10/14)  
 琵琶湖バスのリリース禁止条例が滋賀県議会で可決成立 (2002/10/16)  
 新たなるフェーズに突入したリリース禁止問題 (2002/10/17)  
 リリース禁止条例に対し早くも提訴の動き (2002/10/17)  
 リリース禁止に関して県知事が意向を表明 (2002/10/24)  
 秋の後半に突入した琵琶湖。近江舞子の岸釣りが好調 (2002/10/26)  
 秋の後半を飛び越して冬の初めみたいな琵琶湖 (2002/10/27)  
 琵琶湖は寒くなってもまだシャローのミノーが好調 (2002/11/02)  
 微妙に風向きが変わってきた琵琶湖バスのリリース禁止 (2002/11/07)  
 11月上旬の雪景色でパターン激変の琵琶湖 (2002/11/10)  
 平日でもアングラーが絶えない近江舞子石積み突堤 (2002/11/15)

- 琵琶湖の岸釣り好シーズンの連休。南浜は小バスが好調 (2002/11/23)  
 クリーンアップ琵琶湖に参加。ゴミはあいかわらずきこや (2002/11/26)  
 岸釣り好調の近江舞子。最後の数釣りのチャンスか (2002/12/04)  
 近江舞子舟たまりが好調。石積み突堤のバスはどくどく (2002/12/15)  
 滋賀県知事が適当と認めた? 審議委員・加藤誠司プロ (2002/12/18)  
 琵琶湖周辺に積雪。年末年始の釣りに影響必至か? (2002/12/27)  
 下野正希プロ近江舞子で2002年ラストバッシング (2002/12/30)  
 正月の琵琶湖は荒天続き。近江舞子のバスは行方不明 (2003/01/04)  
 正月休み最終日も大荒れの琵琶湖南湖 (2003/01/05)  
 NHKの受信料支払い拒否の理由 (2003/01/07)  
 正月明けの3連休初日はのんびり穏やか (2003/01/11)  
 3連休最終日も穏やか。近江舞子はマメバス天国 (2003/01/13)  
 琵琶湖周辺に積雪。いよいよ厳冬期に突入か? (2003/01/16)  
 県漁連会長らの恐喝未遂事件。メディアの反応に注目!! (2003/01/22)  
 アングラーがとてもしない極寒の週末 (2003/01/25)  
 琵琶湖で続発する事件のニコースを見て思ったこと (2003/01/26)  
 世界水フォーラムで琵琶湖の浚渫船は消えるか? (2003/01/31)  
 水位、水温ともに落ち着いた琵琶湖。そろそろ一発狙いの季節か? (03/02/06)  
 琵琶湖は冬のどん底。平日の釣り場はガラ空き (03/02/14)  
 ミノーにケツドサイス。琵琶湖の春がスタートか? (03/02/22)  
 リリース禁止まで1カ月の琵琶湖にバスアングラー戻せ (03/03/02)  
 春とは名ばかり。3月に吹雪の琵琶湖 (03/03/09)

- ニコースステーション琵琶湖特集放送延期の理由 (03/03/17)  
 アメリカのイラク攻撃と外来魚リリース禁止の共通点 (03/03/20)  
 世界水フォーラムで南湖の浚渫船が消えた (03/03/22)  
 リリース禁止前最後の3連休の琵琶湖は意外と平穏 (03/03/24)

## 今月の琵琶湖

- 1月 常吉リグ、ネコリグに続く岸釣りの新テクニク発見!! 296  
 2月 年末年始の雪と1月中旬の温かい雨の影響は? 297  
 3月 雪が少なく絶不調の琵琶湖。春の準備をお早めに 299  
 4月 スポーニングが早くて釣るのが難しい春の原因と対策 301  
 4月 (改訂版) 異常なくめの春。早くも3月末には大釣りのチャンスか? 303  
 5月 南湖はドアフター。北湖のプリスポーンに期待したいゴールデンウィーク 305  
 6月 琵琶湖と池原ダムで連日SOUTP。河畑文哉プロだけなせ釣れる 307  
 7月 バスがトップで釣れそつで釣れないときの新対策 309  
 8月 台風2連発の急増水と濁りがサマーパターンにどう影響するか 311  
 9月 エルニーニョと日本のバスフィッシングの関係 313  
 10月 アングラーが多い秋の連休を賢く乗り切るための方法 315  
 11月 リリース禁止条例が滋賀県議会で可決成立。その影響と環境問題への危険 317



く変貌しています。なかでも琵琶湖における外来魚リリース禁止条例の施行前と後の変化については、バスフィッシングの将来を占う意味で全国のバスアングラマーから注目を集めています。

琵琶湖バスのリリース禁止はまだ始まったばかりで、これが最終的にどんな状況に落ち着くかは今なお判断を許しません。リリース禁止とそれに対してバスアングラマーが取った行動の結果はまだ出ていませんが、何がどういう理由で起こり、それがどんな結果をもたらしたか、その間の出来事を記録することはすべてのバスアングラマーとバスフィッシングの将来のために重要だと考えます。そこで著者がホームページに展開した情報を本書にまとめることにしました。

12ページからの「Bassingかわら版Editorial」は、リリース禁止条例の要綱案が公表され、議会で可決成立に向かっているさなかにホームページでの連載がスタートしました。一般の釣り情報と一緒に扱っていく硬派な内容で、1〜2週間に1本のペースでバスフィッシングにまつわる様々な出来事を解説しています。元々のスタートがリリース禁止条例に触発されたこともあって、内容の大部分は琵琶湖バスのリリース禁止に関することです。

ページからの「琵琶湖ホット情報」はBassingかわら版の中心記事であるBBCホット情報からの抜粋です。Bassingかわら版では96年のスタート時から一環して琵琶湖のバスフィッシング情報を多く扱ってきました。本書では、リリースが禁止されたことで琵琶湖のバスフィッシングがどうか変わったかを見ていただくために、リリース禁止の1年前からの情報を選んで掲載しています。そこでタイトルも琵琶湖ホット情報としました。

296ページからの「今月の琵琶湖」は、サンケイスポーツ大阪版の連載記事をホームページに転載していたもので、1995年7月から2002年11月まで続いた中から2002年の11回分を本書に収録しています。本書に掲載以前の情報はホームページをこらんたいだければ幸いです。

「琵琶湖の研究」というタイトルは、小泉内閣の道路4公団民営化推進委員会のご意見番（その前は行革断行評議会委員）として注目を集めた作家、猪瀬直樹さんが特殊法人の問題点を突いた著書「日本の研究」をヒントに目させていただきました。詳しくは琵琶湖ホット情報2003/01/26（ページ）を「じぶんくたさ」。

バスフィッシングを取り巻く状況は本書の発刊以降も刻一刻とかわり続けています。本書の中でもたびたび触れています。リリースが禁止されたからといって琵琶湖へ行かないのではなく、たとえ釣りはしなくても、バス釣り場としての琵琶湖へ足を運んでその様子を見守り続ける必要があると考えます。そういう努力を続けないと、琵琶湖というすばらしいフィールドを放棄してしまうことになりません。ですから、本書を読んで安心するのはなく、これを行動のきっかけにしてください。皆さんが考え、行動していただくためのヒン



著者略歴 服部宏次（はっとり・こうじ）週刊釣りサンデーの記者を経て、95年フリーランスとなりBivako Bass Communications(BBC)を設立。96年からは自らのバスフィッシング情報ホームページ「Bassingかわら版」を運営。琵琶湖を中心に活動を続けながら、書籍、雑誌、新聞、テレビ、インターネットなど様々なメディアを通じてバスフィッシングの魅力を広く紹介している。ソルトウォーター、フライ、磯釣りなども得意で、現在は和歌山県新宮市の三輪崎漁港を基地とするゲームフィッシングポイント・ワイルドキャットのキャプテンとしても活躍。1969年生まれ。大阪府東大阪市在住。